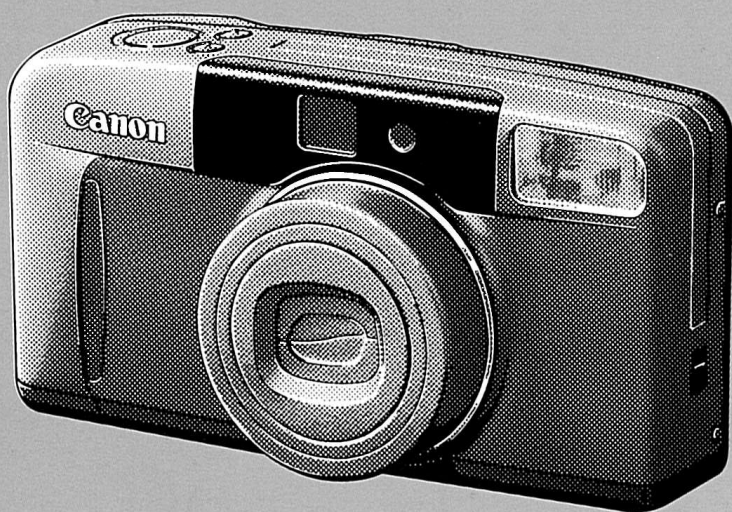


Canon

Autoboy S XL



はじめに

基本編

活用編

応用編

資料編

J

日本語版

使用説明書



目次

■ マークについて

この取扱説明書は2つのマークを使って説明しています。



• このカメラを使用するときのアドバイスです。



• このカメラを使用するときにご注意いただきたいことです。





はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
操作早わかり	7
各部の名称	8








基本編

ダイヤルを回します (メインスイッチオン)	11
■ 電池の交換について	12
カメラを構えます	13
シャッターボタンを押してみます	13
ファインダーをのぞきます	14
緑ランプについて	14
写したいものを大きく～小さくします	15
フィルムを入れます	16
撮影します (全自動撮影)	18
フィルムを取り出します	20
パノラマモード撮影	21
パノラマプリントについて	22

活用編

動いているものを撮る	24
 アクションマーク	
夜景をバックに人物を撮る	25
 夜景マーク	
人物をアップで撮る	26
 ポートレートマーク	
身近なものを大きく撮る	27
 クローズアップマーク	
静かな雰囲気の中で撮る	28
S-AUTO サイレントオートマーク	
逆光などで人物を撮る	29
SPOT スポットマーク	

応用編

 セルフタイマー撮影	31
 リモコンの使い方	32
リモコンの電池交換	33
DATE 日付/時刻の写し込み	34
日付/時刻のセット	35
CAPTION メッセージの写し込み	36
 ストロボ/赤目緩和モードの変更	38
 ストロボONモード	39
 ストロボOFFモード	40
 スローシンクロモード	41
 赤目緩和機能について	42

資料編

Q&A	43
こんなときは	44
取り扱い上のご注意	45
主な仕様	46

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例

行為を禁止する記号

⊘ 禁止 ⊘ 接触禁止 ⊘ 分解禁止

⊘ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

⊘ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

⚠ 警告 (電池について)

- ⊘ このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
- ⊘ 新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。また違うメーカー、違う種類の電池を混ぜての使用はしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
- ⊘ 電池を火の中に入れたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
- ⊘ リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 警告（電池について）

- ⚠ 電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。
- ⚠ 万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
- ⚠ 電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。
- ⚠ 電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 警告（ストロボについて）

- ⊘ 車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。
- ⊘ ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
- ⊘ ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。

⚠ 警告（その他取り扱いについて）

- ⊘ 落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告（その他取り扱いについて）

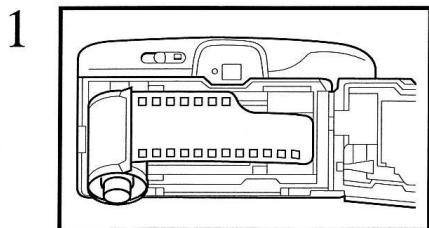
- ⊘ 自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。
- ⊘ カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
- ⚠ カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ 自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

⚠ 注意（その他取り扱いについて）

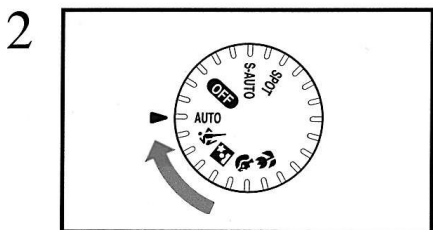
- ⊘ カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
- ⊘ カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
- ⚠ カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
- ⊘ カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
- ⊘ 万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

操作早わかり

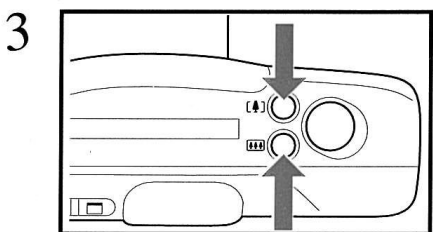
●本文中の(→xxページ)は参照ページを示しています。



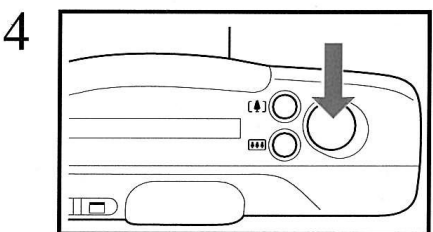
フィルムを入れます
(→16ページ)。



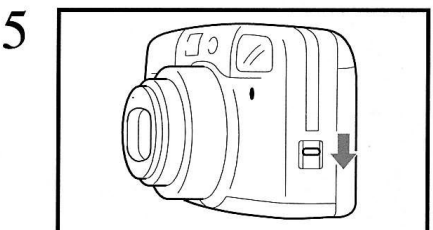
ダイヤルをAUTOに合わせます
(メインスイッチオン)
(→11ページ)。



ズームボタンを押して、写
したいものの大きさを決め
ます(→15ページ)。

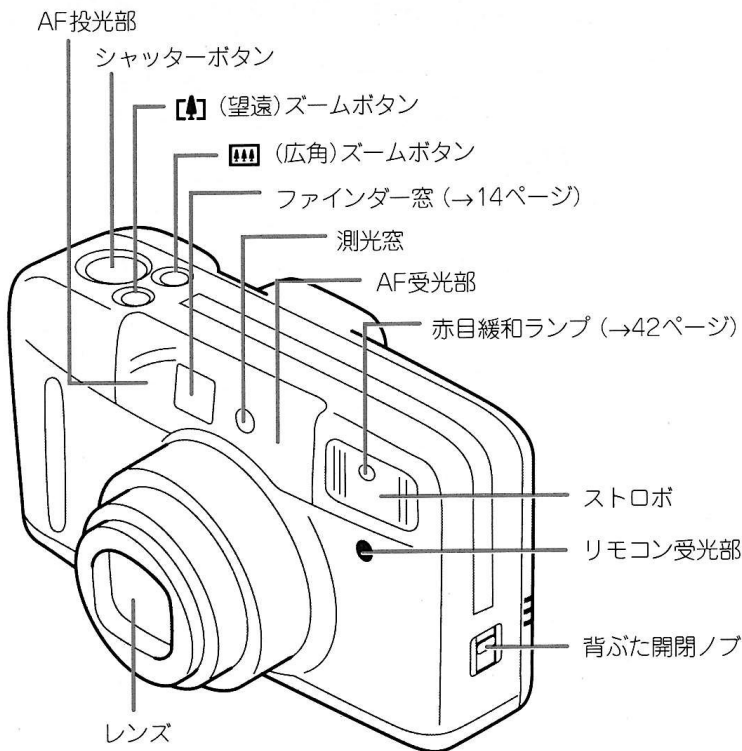


構図を決め、シャッターボ
タンを押します(→18ペー
ジ)。



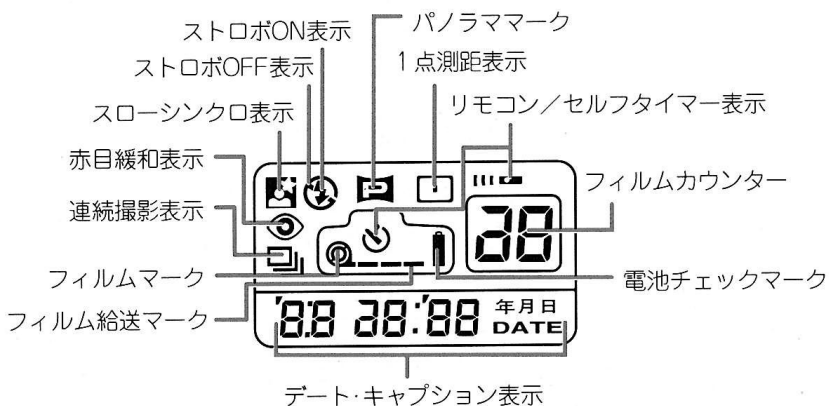
フィルムの巻き戻しが終了
したらフィルムを取り出
します(→20ページ)。

各部の名称

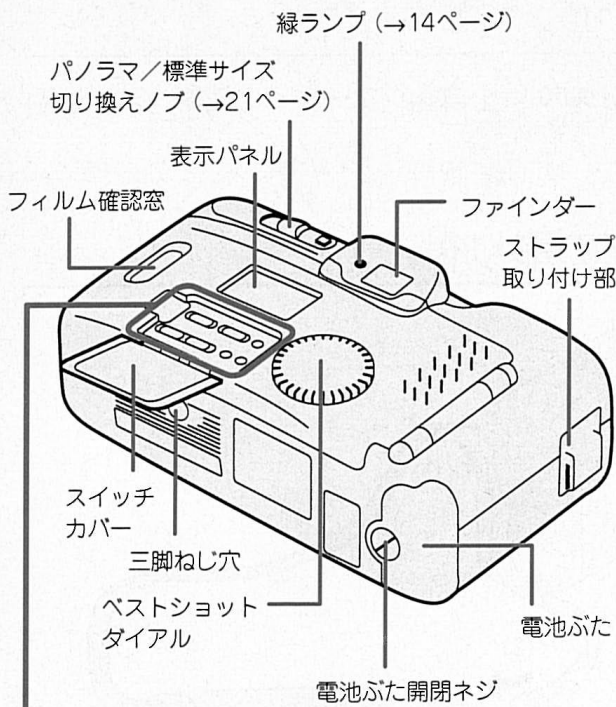


表示パネル

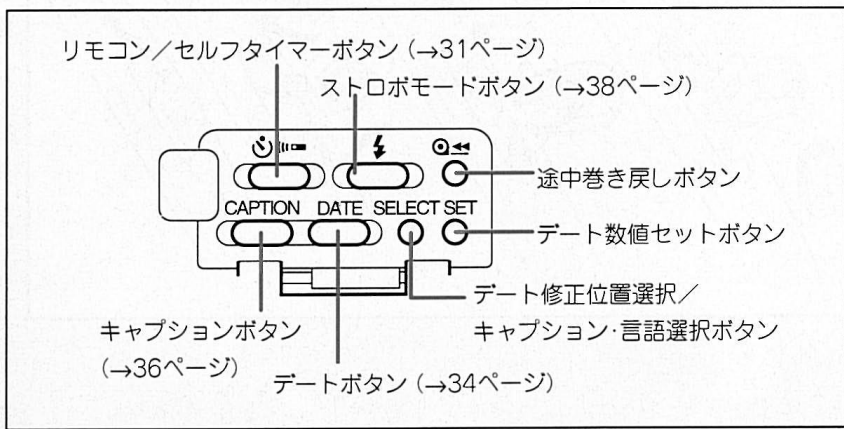
下の図は表示パネルに表示されるすべての情報を表示したのですが、通常は必要な情報だけが表示されます。



各部の名称



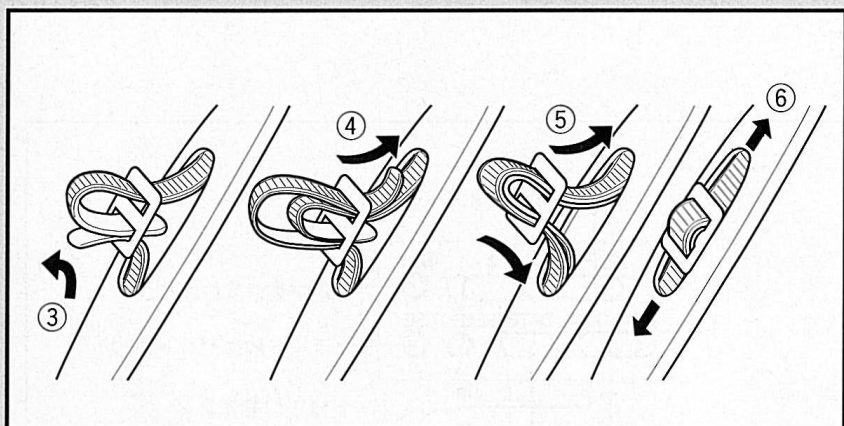
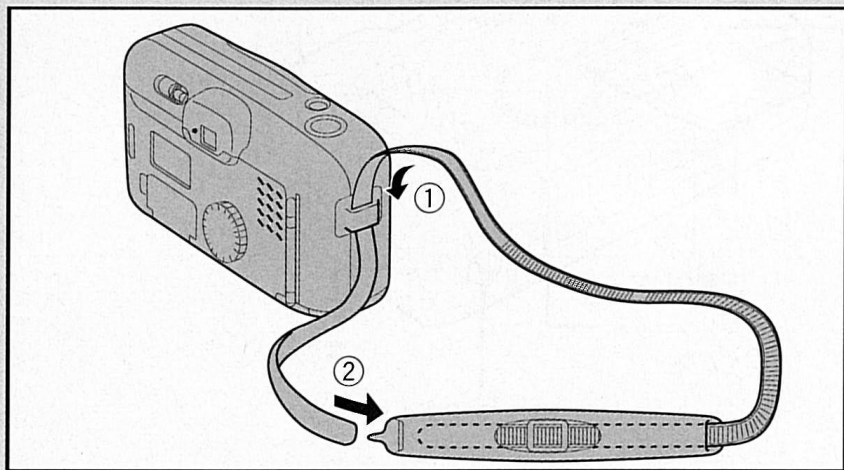
はしめ



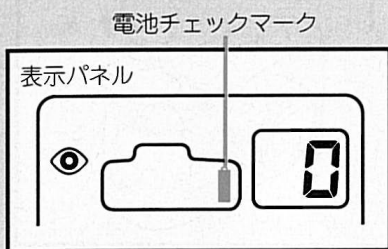
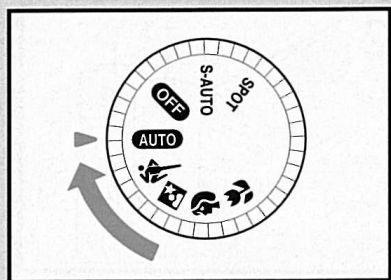
基本編

この基本編は手軽な AUTO（全自動）マークでの撮影方法を説明します。

● ストラップの取り付け方



ダイヤルを回します (メインスイッチオン)



ダイヤルをAUTOに合わせると電源が入り、全自動撮影にセットされ、レンズが自動的に繰り出し広角38mmにセットされます。

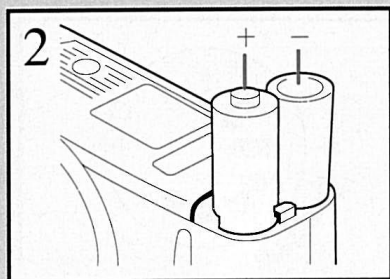
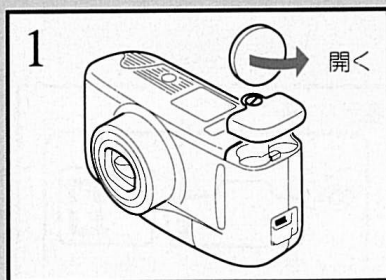
電池をチェックします


表示パネルに図のように が点灯していれば電池はOKです。点滅した場合は新しい電池を用意し、点灯しなくなったら新しい電池と交換してください。電池の交換(→12ページ)




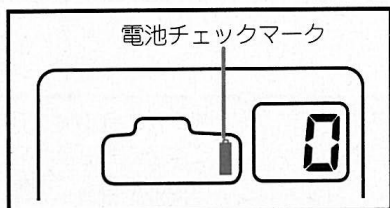
- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一の時に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難なことがあります。

電池の交換



電源を入れて表示パネルの  が消えるときは、次の手順で電池を交換してください。

- 1 コインなどを使ってねじを矢印の方向に回してゆるめ、電池ぶたを外します。
- 2 電池を取り出し新品の電池を+-の表示を正しく合わせ、図のような向きで入れます。
- 3 電池ぶたを閉じ、ねじを回して閉めます。
表示パネルに  が表示されます。



[使用電池]

リチウム電池(CR123A 又はDL 123A, 3V) 2個使用

[撮影可能本数]

24枚撮りフィルム約22本(ストロガ50%使用時/当社試験条件による)



- 必ず2本同時に交換してください。
- 電池を交換すると、表示パネルの日付が「'92. 1. 1.」に変わります。日付と時刻を修正してください。

カメラを構えます



シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

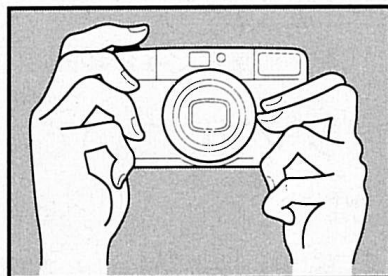
- 1 両手でカメラを持ちます。
- 2 ひじを体に軽くつけます。
- 3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光窓、AE受光窓、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。

シャッターボタンを押してみます

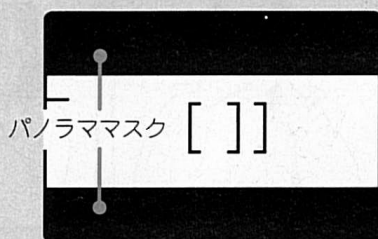
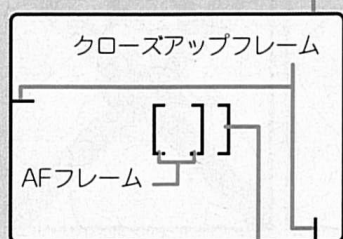
シャッターボタンは二段階になっています。軽く押すとピントが合い、さらに押すとシャッターが切れます。撮影後、フィルムは自動的に巻き上げられます。



- 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押ししたり、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンはゆっくり静かに押してください。

ファインダーをのぞきます

(ファインダー視野図) 撮影範囲枠



撮影範囲枠

通常の撮影は、この枠内で構図をきめます。

クローズアップフレーム

撮影距離が1m以内のときの撮影範囲を示す枠です。

AFフレーム

写したいものにこのマークを合わせ、ピントを合わせます。

クローズアップAFフレーム

クローズアップモード撮影時は写したいものにこのフレームを合わせます。

パノラママスク

パノラマ撮影で写る範囲を示すマスクです。

緑ランプについて

点灯

ピント合わせ完了(撮影OK)

遅い点滅(4回/秒)

近距離警告

速い点滅(16回/秒)



手ぶれ警告(ストロボOFF時)

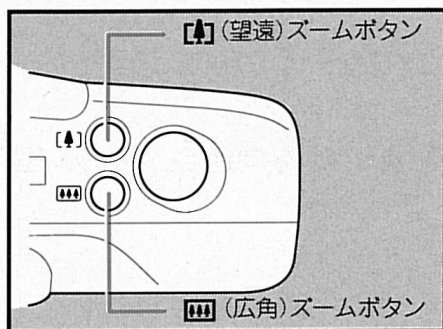
赤目緩和ランプ点灯(全自動撮影の初期約1秒間)

写したいものを大きく～小さくします



38mm ← = = = = ⇒ 115mm

 (広角)ズームボタンまたは  (望遠)ズームボタンを操作して、ファインダー内の写したいものの大きさを自由に変えることができます。



(広角)ズームボタンを押す

レンズは38mmまでの広角になります。広角側ではより広い範囲を写すことができます。風景の撮影や人物の集合写真を撮影するときなどに使用します。

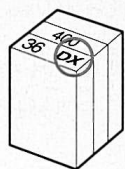
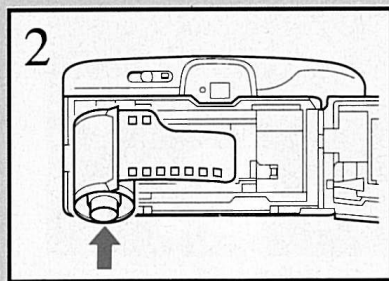
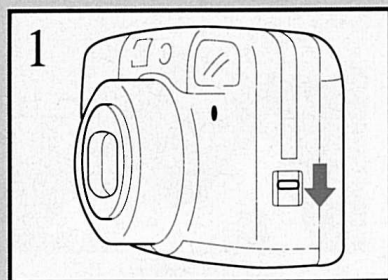
(望遠)ズームボタンを押す

レンズは115mmまでの望遠になります。望遠側では写したいものをより大きく写すことができます。人物のポートレート撮影などに使用します。



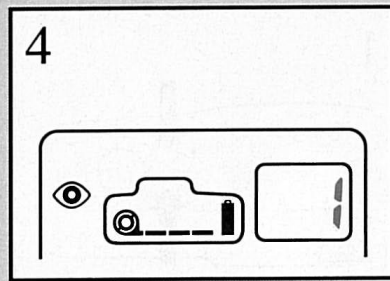
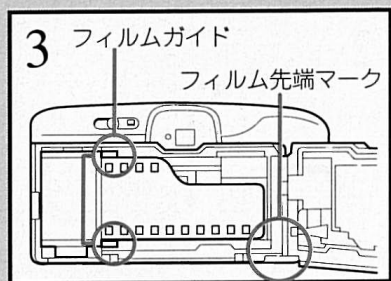
- ズームレンズ本体(鏡筒)は繰り出されたまま約3分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され、広角(38mm)にセットされます。

フィルムを入れます



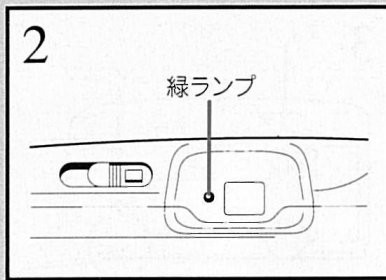
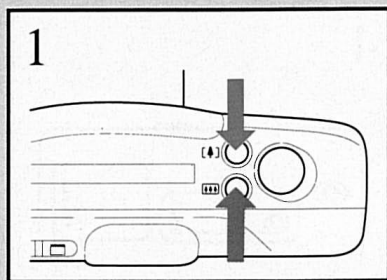
DXマークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

- 1 背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開きます。
- 2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。



- 3 フィルム先端を、フィルム先端マークまで引き出します。フィルムガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背ぶたを閉じます。
- 4 ダイアルをAUTOに合わせます(スイッチオン)。フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が表示されます。フィルムカウンターに“1”が出ないときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。

撮影します (全自動撮影)

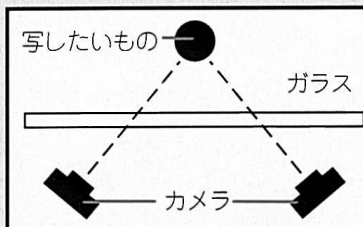



ダイヤルをAUTOにすると全自動撮影になります。
中抜けしにくいAIAF機能ですから、中央部から写したいものがない
としてもピントが合います。

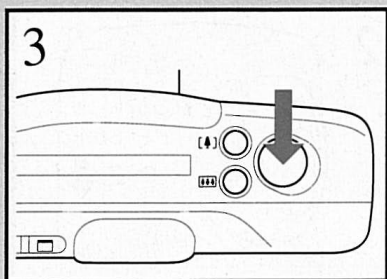
- 1 写したいものにカメラを向け、ファインダーをのぞきながら
ズームボタンを押して、大きさを決めます。
- 2 写したいものにAFフレームを合わせます。軽くシャッターボ
タンを押して緑ランプが点灯し、ピントが合ったことを確認
します。



- ガラス越しの撮影は、で
きるかぎりガラスに近
づいて斜めから撮影し
てください。



- 緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、写したいものまでの距離
が近すぎてピントが合いません。点滅なくなるまで離れてく
ださい。
- ダイヤルが  マークでは、写したいものに0.4mまで近付けま
す(→27ページ)。



- 3 そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。
- 暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光します。



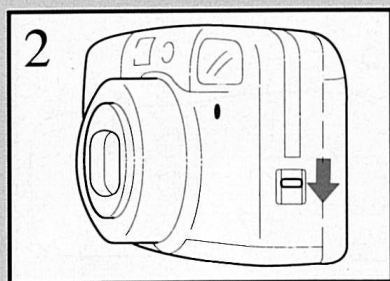
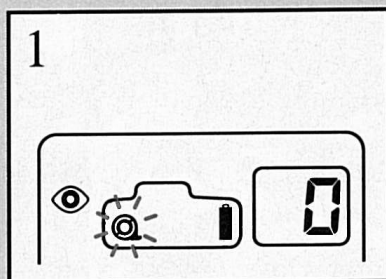
- 赤目が出やすい暗さになると赤目緩和機能がはたらきます。赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

ストロボの届く距離

フィルム感度	38 mm (広角)	115 mm (望遠)
ISO 100	0.6~6.2 m	0.6~2.6 m
ISO 200	0.6~8.8 m	0.6~3.7 m
ISO 400	0.6~12.4 m	0.6~5.2 m

(カラープリント用フィルム使用時)

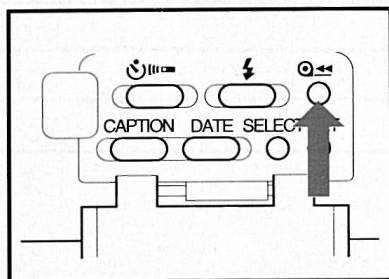
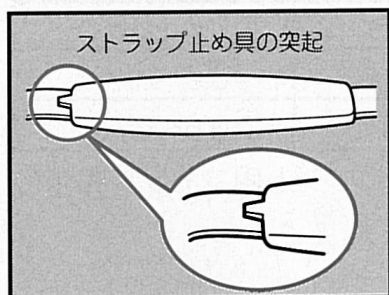
フィルムを取り出します



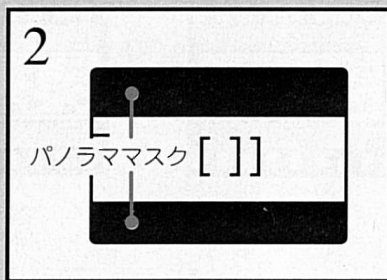
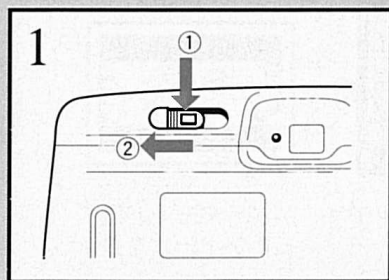
- 1 セットしたフィルムを撮り終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。
- 2 フィルムカウンターが“0”になり、フィルムの巻き戻しが終了したら、背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開き、フィルムを取り出します。


フィルムの途中巻き戻し

フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出すときは、ストラップ止め具の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。



パノラマモード撮影



- 1 パノラマ／標準サイズ切り換えノブをパノラマ側にスライドします。
 - 表示パネルに  マークが表示されます。
- 2 ファインダーをのぞいて構図を決め、撮影します。



- 緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、写すものまでの距離が近すぎて実際の撮影範囲が下にずれる警告です。そのままでは写したいものの上部が撮れませんので、2m以上離れてください。

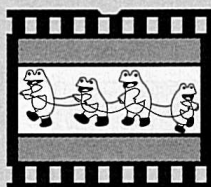


- パノラマモードでも、日付とメッセージを写し込めます。(→36ページ)
- ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ(89×254mm)に引き伸ばすものです。

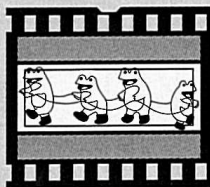
解除するとき

切り換えノブのボタン①を押してください。ノブが元の位置に戻り、マスクが消えます。

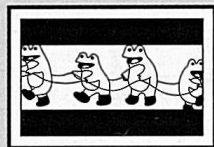
パノラマプリントについて



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下にカットされた形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。



パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモード撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマモード撮影したフィルムの現像・プリントは、通常処理と異なりますので、現像・プリント店に出す際には、必ず「パノラマ撮影したフィルム」であることをお伝えください。









- パノラマモードを使用した場合は通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかります。
- 「パノラマ／標準混在」の現像／プリント依頼の際に同時に仕上がらない場合は、フィルムの現像のみを先に仕上げた後にプリントを依頼するなどの方法がありますので、お店にご相談ください。

活用編

ベストショットダイアルを使って撮る

写したいものに合わせてダイアルを回すだけで自動的に最適なAFモード、給送モード、ストロボモードなどがセットされ、手軽に良い写真を撮ることができます。

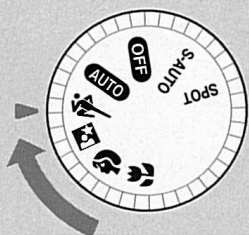
パネル表示について

マーク	マーク名	機能の説明
	1点測距表示	中央部1点にピントが合います。
	連続撮影表示	シャッターボタンを押している間、連続撮影(最高1コマ/秒)します。
	ストロボON表示	ストロボは発光します。
	ストロボOFF表示	ストロボは発光しません。
	スローシンクロ表示	ストロボが発光し、シャッタースピードは遅くなります。
	赤目緩和表示	赤目が出やすい暗さになると、約1秒間赤目緩和ランプが点灯し、シャッターが切れます。



動いているものを撮る

アクションマーク

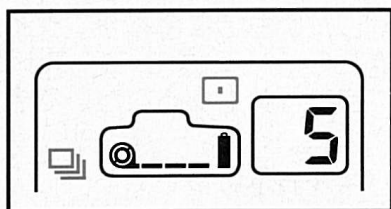


写したいものの動きにピントを合わせ続ける機能です。

動きのあるものに連続してピントを合わせるサーボオートフォーカスと、シャッターボタンを押し続けると連続撮影のできる連写機能がセットされます。

ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに  と  が表示されます。

写したいものをファインダーの中央のAFフレームで追いつけてください。

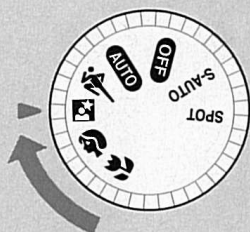


- 暗いときや逆光のときは、自動的にストロボが発光します。
- シャッターボタンを軽く押し続けると、約15秒間連続的にピントを合わせ続けます(緑ランプは点灯しません)。
- シャッターチャンスを見逃さないように赤目緩和機能はありません。







夜景をバックに人物を撮る

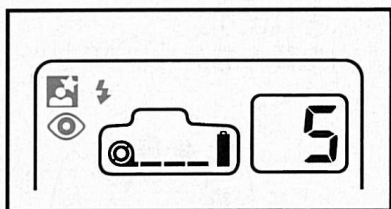
夜景マーク



夜景をバックに人物を撮るのに効果的な機能です。


ストロボ発光機能と遅いシャッタースピードがセットされ、人物にはストロボがあたり、遅いシャッタースピードで背景もきれいに撮影することができます。

ダイヤルを  マークに合わせると表示パネルに ,  と  が表示されます。



曙田地



-  赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。
- このマークでは手振れ警告表示は出ませんが、必ずカメラをしっかりした台の上に置くか三脚をご使用ください。

夜景だけを撮るときは

ストロボの発光を止めるとより効果的な写真が撮れます。詳しくは応用編をご覧ください。(→40ページ)

人物をアップで撮る

ポートレートマーク







バスタップ



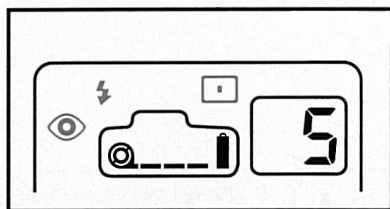
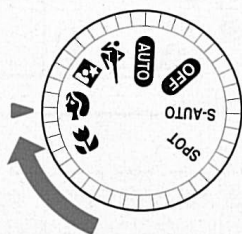
ウエストアップ

人物をアップで撮るのに効果的な機能です。

人物の上半身が入るよう自動的にズーミングし、目に輝き(キャッチライト)を入れるために常にストロボが発光します。


ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに 、 と  が表示されます。

人物の顔のあたりにAFフレームを合わせて撮影してください。



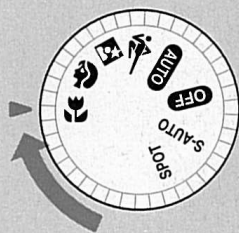
- 写したいものから1~3mの範囲で自動的にズーミングします。
- 自動的にズーミングした後、ズーム調整することができます。



- ポートレートマークでは、標準フルサイズ撮影を前提に撮影範囲を設定していますので、パノラマモードでの撮影はおすすめできません。
-  赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

身近なものを大きく撮る

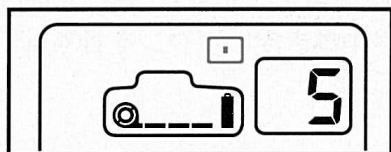
クローズアップマーク



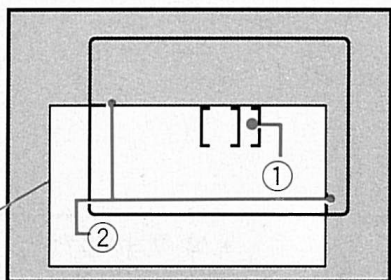
草花など身近なものを大きく撮るのに効果的な機能です。

焦点距離が85mmに固定となり、写したいものに0.4mまで近付いて撮影することができます。

ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに  が表示されます。



1m以内で撮影するときは、写したいものをファインダーのクローズアップAFフレーム①に合わせてシャッターボタンを軽く押し、クローズアップフレーム②内で構図を決めて撮影します。




「実際に写る範囲」



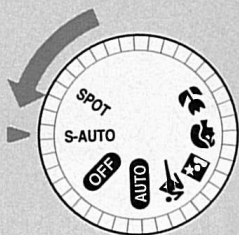
- ∞ から0.4mまで撮影できます。
- 暗いときや逆光のときは、ストロボが自動的に発光します。



-  マークに合わせると自動的にレンズが繰り出し固定となり、ズーム操作はできません。
- 0.4m以内ではピントが合いません。

S-AUTO 静かな雰囲気の中で撮る

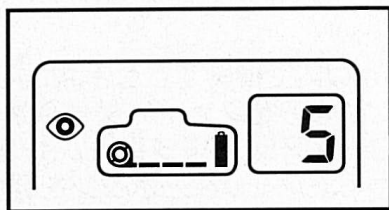
サイレントオートマーク



フィルムの巻き上げ、巻き戻しの音を小さくして静かな雰囲気をこわさずに撮影するのに効果的です。

その他の機能は全自動撮影(AUTOマーク)と同じです。

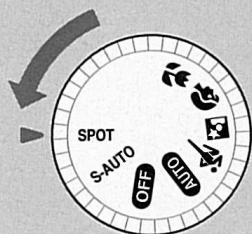
巻き戻しを静かにしたいときは、最後のコマを撮影する前、および途中巻き戻しボタンを押す前にダイヤルをS-AUTOに合わせてください。



- 赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

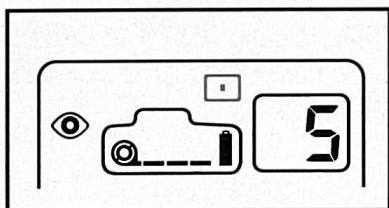
SPOT 逆光などで人物を撮る

スポットマーク



逆光などでファインダー中央部の写したいものをきれいに撮るのに効果的な機能です。

ダイヤルを**SPOT** マークに合わせると、ファインダー中央部にピントと露出が合うように設定され、表示パネルに□が表示されます。写したいものをファインダーのAFフレーム中央に合わせてください。

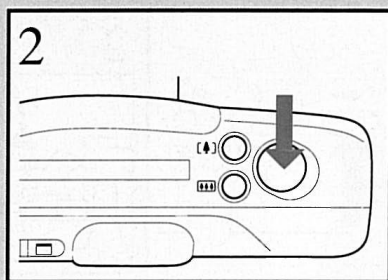
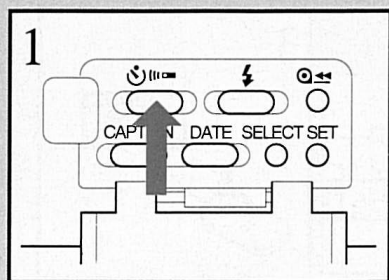


- 赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

応用編

ベストショットダイヤルの機能をさらに細かく設定したり、セルフタイマー撮影、リモコン撮影、メッセージの写し込み等について説明します。

☺ セルフタイマー撮影



セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。

- 1 セルフタイマーボタンを押し、表示パネルの☺ 〰️を確認します。
- 2 カメラを写したいものに向けて構図を決め、シャッターボタンを押すとセルフタイマーが作動します。
 - セルフタイマーランプ／赤目緩和ランプが点滅(1回/秒)をはじめ、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーを途中でやめたいとき

次のいずれかの操作を行なってください。

- セルフタイマーボタンを再び押す。
- ズームボタンを押す。
- ダイヤルを回し他のマークにする。

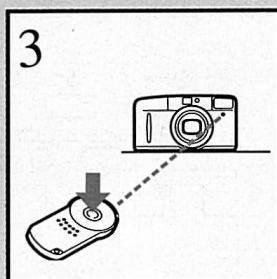
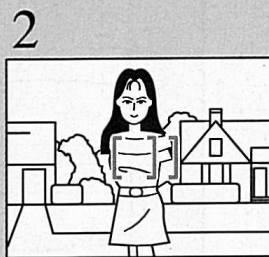
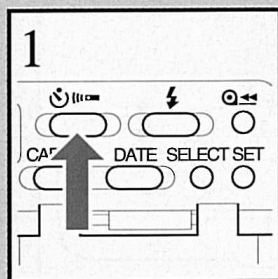


- シャッターが切れる2秒前になるとランプの点滅がさらに速く(4回/秒)なります。ただし、赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる2秒前からランプが点灯します。
- セルフタイマー撮影は☺ が表示されている4分間有効です。

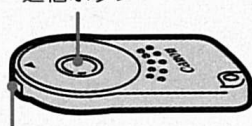


- カメラをしっかりと台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。
- ポートレートでは、シャッターボタンを軽く押すとまず自動的にズームインします。さらに押し続けてセルフタイマーが作動するのを確認してください。

リモコンの使い方



送信ボタン

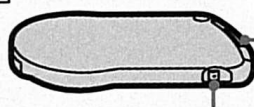


送信部

表

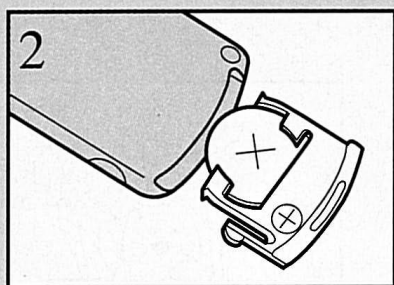
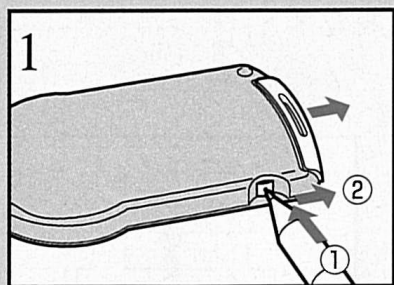
裏

電池ホルダー



電池ホルダー取り外しボタン

- 1 リモコン / セルフタイマーボタンを押し、表示パネルの を確認します。
 - 再度 ボタンを押すと が消え、リモコン撮影が解除されます。
- 2 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押します。
 - ファインダー横の緑ランプが点灯します。
 - シャッターボタンから指を離しても約4分間ピントが固定されますので、あらかじめピントを合わせ、構図を決めてからリモコン撮影することができます。セルフタイマーでも同様にピントを固定することができます。
- 3 送信部をカメラのリモコン受光部に向けて送信ボタンを押します。
 - カメラの正面から約5m離れて撮影できます。
 - カメラが受信すると赤目緩和ランプが点滅（赤目緩和の時は点灯）し、約2秒後にシャッターが切れます。



リモコンの電池交換

リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら、新しい電池と交換してください。



使用電池：リチウム電池CR 2032 3V、1個を使用します。

- 1 ボールペンなどの先端で取り外しボタンを押しながらスライドさせます。
- 2 電池ホルダーに新しい電池を入れてホルダーをセットします。
 - 十ーを正しく合わせて入れます。

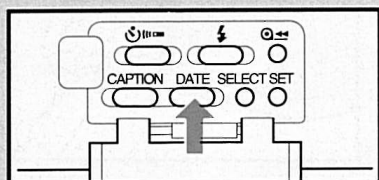
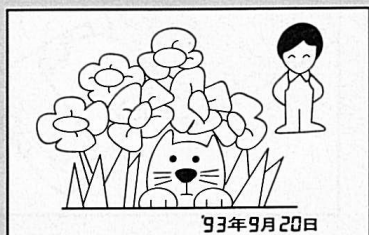


- リモコン受光部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時に蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。



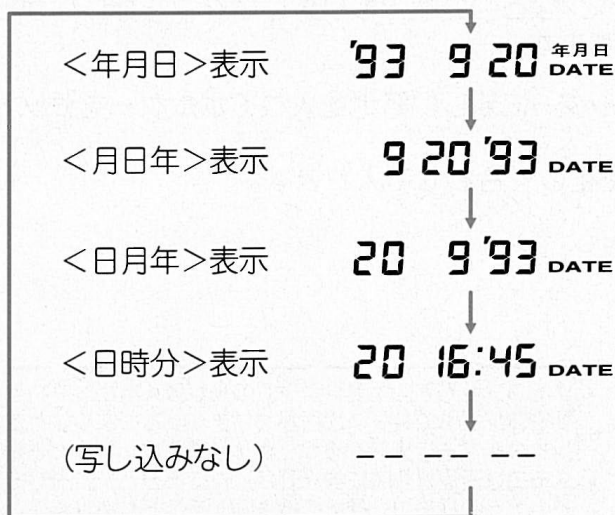
- リモコン撮影は   が表示されている約4分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラをしっかりと台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。

日付／時刻の写し込み



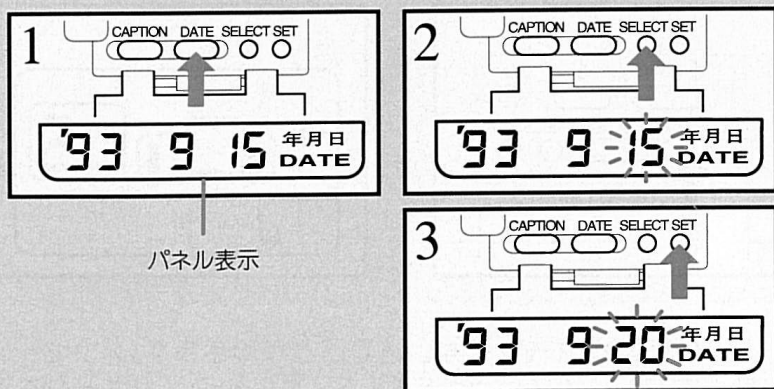
- 日付は図のように写し込まれます。

デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、写真に写し込む日付／時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります。



- DATEがパネル上に表示されているとき日付は常に写し込まれます。

日付／時刻のセット



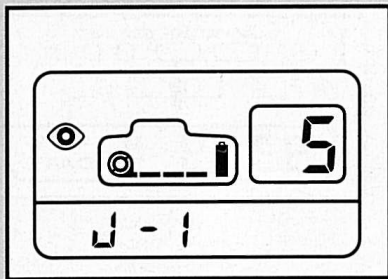
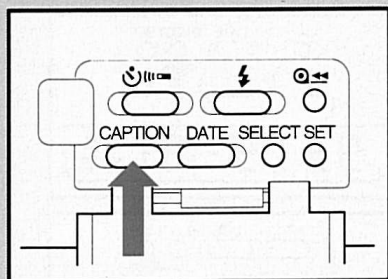
2029年までのオートカレンダーが組み込まれています。撮影のたびに日付をセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにセットし直します。

- 1 デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、表示パネルに修正する日付(時刻)を表示します。
- 2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して修正する数字を点滅させます。
- 3 数値セットボタン(SET)を押して正しい数字をセットします。
- 4 すべての数字が点灯するまで、修正位置選択ボタン(SELECT)を押します。すべての数字が点灯すれば、セットは完了です。

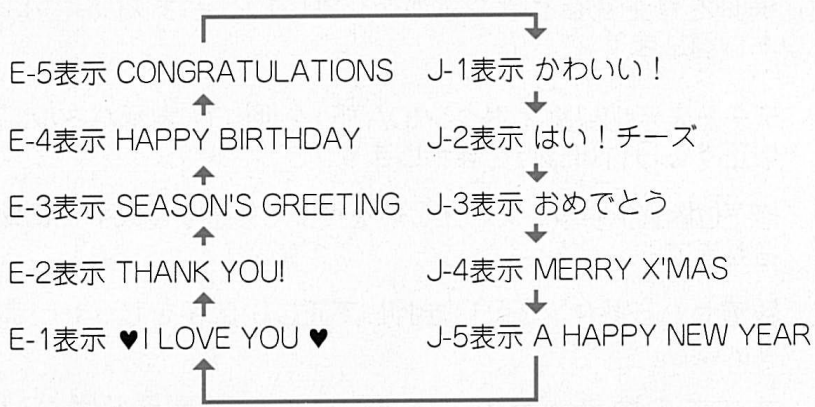


- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「92. 1. 1」に変わります。日付と時刻を修正してください。
- ボタンを押すときはストラップ止め具の突起を利用すると便利です。

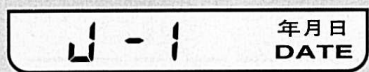
メッセージの写し込み

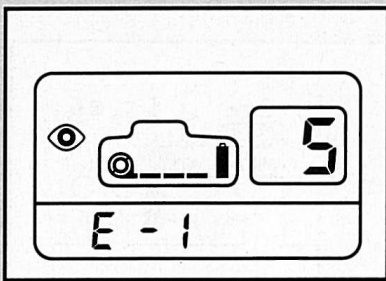
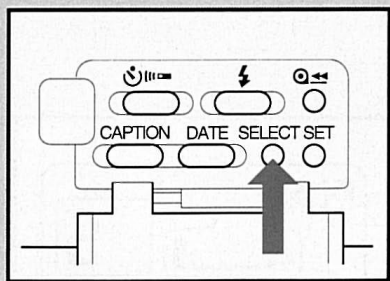


デート以外にメッセージを写し込むことができます。メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押して、写し込むメッセージを選びます。メッセージの写し込みは1枚撮影するごとに日付/時刻の写し込みに切り換わります。メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押すたびに表示パネルは次のように変わります。



- デート写し込み状態でメッセージを選択すると、デートとメッセージが同時に写し込まれます。またパノラマ撮影でも写し込みが可能です。
- メッセージだけを写し込みたい場合は、DATEボタンを押して、表示パネルのDATE表示を消してください(デートOFF)。





修正位置選択(SELECT)ボタンを押すと各メッセージの表示を日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の順番で変更することができます。

英語のメッセージ内容

- E-1 表示 ♥ I LOVE YOU ♥
- E-2 表示 THANK YOU!
- E-3 表示 SEASON'S GREETING
- E-4 表示 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 表示 CONGRATULATIONS

ドイツ語のメッセージ内容

- D-1 表示 ICH LIEBE DICH
- D-2 表示 DANKE SCHÖN
- D-3 表示 EIN FORHES FEST ING
- D-4 表示 ALLES GUTE!
- D-5 表示 VIELE GRÜBE

フランス語のメッセージ内容

- F-1 表示 ♥ JE T'AIME ♥
- F-2 表示 MERCI!
- F-3 表示 MEILLEURS VOEUX
- F-4 表示 BON ANNIVERSAIRE
- F-5 表示 BRAVO!

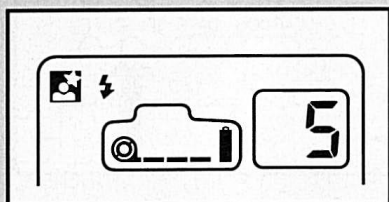
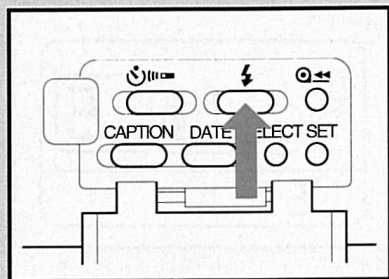
スペイン語のメッセージ内容

- ES-1 表示 ♥ TE ♥ AMO ♥
- ES-2 表示 MUCHAS GRANCIAS!
- ES-3 表示 FELIZ NAVIDAD
- ES-4 表示 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 表示 FELICIDADES



- DXマークのついたフィルムでも、それぞれ12枚、20枚、24枚、36枚撮りのフィルムをお使いください。それ以外の撮影枚数のフィルムでは、フィルムの最後の1枚分のデート、キャプションの写し込み撮影ができなくなることがあります。
- メッセージをOFFにするときはDATEボタンを押してください。

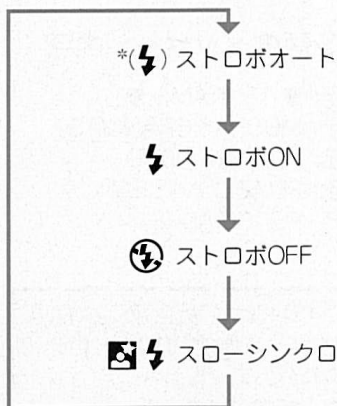
ストロボ／赤目緩和モードの変更



ストロボモードボタンを押すと、次の順でストロボモードが切り換わり、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。

モードの変更は表示パネルで確認できます。ストロボモードは、ダイヤルを操作すると初めに設定されていたストロボモードに戻ります。

アクションモード



その他のモード



*ストロボオートでは、ストロボが発光する時に⚡が表示されます。

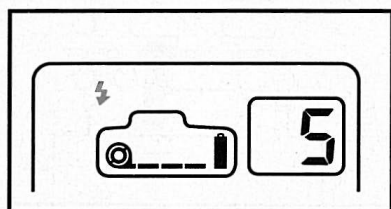
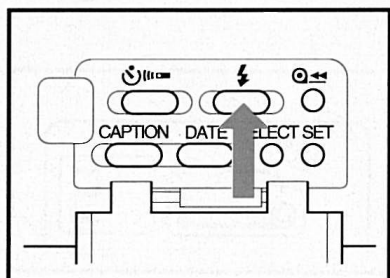


- ポートレートモードで初めの設定(⚡👁)に戻すときは、ダイヤルをセットし直してください。

⚡ ストロボONモード



撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときに使用します。

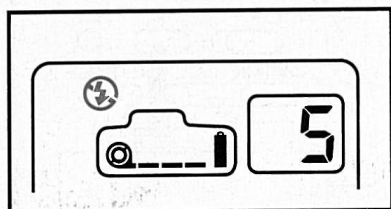
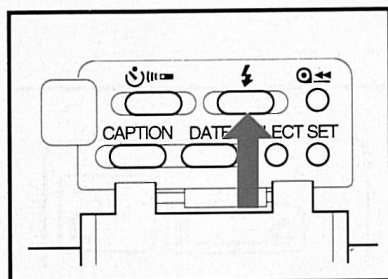


ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

⚡ ストロボOFFモード



夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影などに使用します。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

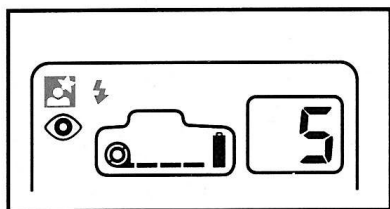
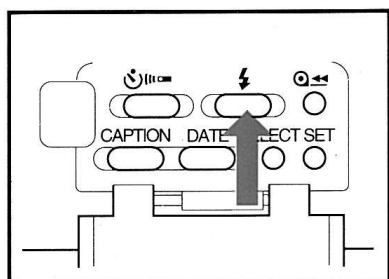


- 暗い場所でのストロボOFFによる撮影は、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれ警告で緑ランプが早く点滅(16回/秒)したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

📷/⚡ スローシンクロモード



夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をするときに使います。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに📷と⚡を表示します。



- シャッタースピードが遅くなりますので、カメラをしっかりした台の上に置か、三脚をご利用ください。



- 👁 赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

👁️ 赤目緩和撮影機能について



暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言います。

赤目緩和モード👁️では赤目現象の出やすい暗さになると、ストロボ発光の前に約1秒間、赤目緩和ランプが点灯して赤目現象の発生を緩和します。



- 赤目緩和ランプは、ダイヤルが👁️ (アクション)マークではシャッターチャンスを見逃さないために機能しません。
- 赤目緩和ランプが点灯すると、緑ランプが早い点滅(16回/秒)に変わります。



- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターは切れません。すぐ撮影したい場合はストロボモードボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。
- 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
- この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人がランプを見るように声をかけてください。

Q & A

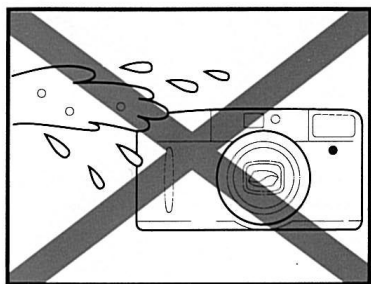
- Q.1** リバーサルフィルムは使えますか？
- A.1** はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルムISO 25, 50, 100, 200, 400, 800, 1600, 3200 のものを使用してください。
- Q.2** フィルム感度 (ISO) とは何ですか？
- A.2** フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO 200 やISO 400のフィルムをお勧めします。
- Q.3** DXマークのないフィルムは使えますか？
- A.3** はい、使うことができます。ただし、フィルム感度ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じフィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。
- Q.4** 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？
- A.4** 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがかかるようにしてください。また、オレンジ色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。
- Q.5** リモコンの電池の寿命はどのくらいですか？
- A.5** 約6,000回送信することができます。
- Q.6** 撮りたいものに0.35mより近付くと近距離警告の緑ランプが点滅しなくなりますが、このとき撮影すると写真はどのようなのですか？
- A.6** ピントは合いません。写したいものから、0.6m以上（クローズアップ時0.4m以上）離れて撮影してください。
- Q.7** 巻き戻しの途中でS-AUTO（サイレントオート）に切り換えられますか？
- A.7** 巻き戻し中は切り換えることができません。静かに巻き戻しをしたいときは、最後のコマを撮影する前にダイヤルをS-AUTOにセットしてください。

こんなときは

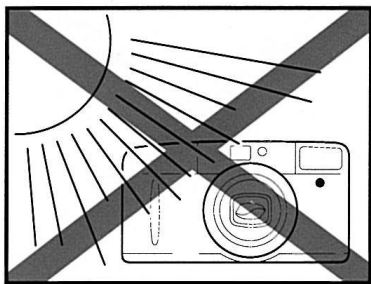
故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。次の表にしたがってチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参考頁
1. 電池チェックマークが表示されない	① 電池が消耗している ② 電池が逆向きにはいつている	① 電池を交換する ② 電池を正しく入れ直す	12 12
2. シャッターが切れない	① メインスイッチがOFFになっている ② 電池が消耗している ③ フィルムが正しくセットされていない ④ 巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	① ダイアルを回してスイッチを入れます ② 電池を交換する ③ フィルムを正しく入れ直す ④ フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	11 12 16 20
3. 写真がボケて写っている	① シャッターを切るときに、AF受光窓をおおっていた ② セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押した ③ シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	① 髪や指などでAF受光窓をおおわないように気をつける ② カメラの直前に立たないように気をつける ③ シャッターボタンを静かに押す	13 31 13
4. 表示パネルに「E」と表示される	リセット必要時の自己診断表示	ダイヤルを回してモードを切り換えてみる (点滅が消えないときは修理にお出してください)	11

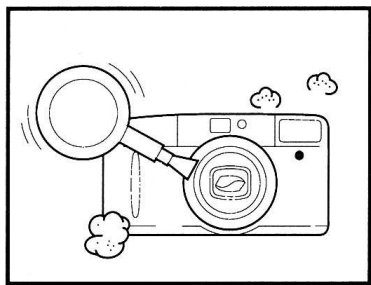
取り扱い上のご注意



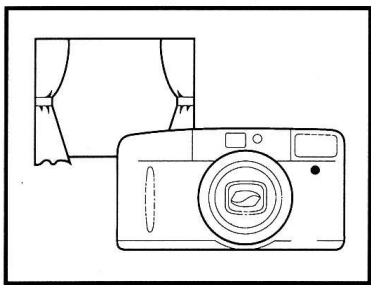
- このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。また、水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。
- カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。



- レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアーブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。



- カメラを長時間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

主な仕様

形式:ズームレンズ内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
画面サイズ:24×36mm(標準サイズ) 13×36mm(パノラマサイズ)

レンズ:キャノンレンズ 38-115mm F 3.6-8.5

焦点調整:AIアクティブオートフォーカス(1点測距可能)

撮影距離:0.6m~∞ (クローズアップ時 0.4m~∞)

シャッター形式:絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー:実像式ズームファインダー 倍率:広角 0.47倍 望遠 1.22倍

ファインダー情報:ファインダー内:撮影範囲枠、クローズアップフレーム、AFフレーム、クローズアップAFフレーム、パノラマ撮影フレーム、表示マスク

ファインダー接眼部:撮影OKランプ兼近距離警告/手ぶれ警告(緑色LED)

フィルム装填:自動(自動空送り付き)

フィルム巻き上げ:自動、一枚撮影、連続撮影可能

フィルム巻き戻し:自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能

フィルムカウンター:順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり

フィルム在否確認:背蓋フィルム確認窓あり

セルフタイマー:電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、ボディ正面セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン

リモートコントロール機能:赤外光を利用した専用リモコンシステム

送信ボタンにて作動、2秒後リリース

作動距離範囲:約5m以内 電池寿命 約6000回

測光作動範囲(ISO 100):

全自動モード/ストロボ発光モード:






広角:1/40 F3.8~1/1200 F15 (EV9~18)

望遠:1/110 F8.5~1/1200 F36 (EV13~EV21)

ストロボOFFモード/スローシンクロ:

広角:2秒 F3.8~1/1200 F15 (EV3~18)

望遠:2秒 F8.5~1/1200 F36 (EV5.5~21)

マーク	AF				測光方式	
	AIAF	1点AF	ワンショット	サーボ	3分割	スポット
 全自動	●		●		●	
 アクション		●		●	●	
 夜景	●		●		●	
 ポートレート		●	●		●	
 クローズアップ		●	●		●	
SPOT スポット		●	●			●
S-AUTO サイレントオート	●		●		●	

露出補正: ストロボOFFモードで逆光のとき、+1.5段の自動露出補正
 フィルム感度: ISO 25~3200, DXコードにより1段ごとに自動セット
 内蔵ストロボ: 低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
 ストロボ連動範囲: 広角; 0.6~6.2m 望遠; 0.6~2.6m クローズアップ; 0.4~3.1m(カラープリント用フィルムISO 100使用時)
 ストロボ充電時間: 約4秒
 ストロボ切り換え: ペストショットダイヤル及びストロボモード切り替えボタンによる

- ①ストロボオートモード: 低輝度、逆光時自動発光
- ②ストロボONモード: 常時発光
- ③ストロボOFFモード: 発光禁止
- ④スローシンクロモード: 常時発光

写し込み機能: 方式: 液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
 オートカレンダー(西暦2029年まで、うるう年自動修正)時計機構; 常温20℃下で月差±120秒以下

写し込みデータ: 方式(4通り)、メッセージ(10通り)

文字形状: 5×7のドットマトリックスによる

写し込みの色: オレンジ色

電源: リチウム電池 CR123A 又はDL123A 3V 2個

パノラマモード撮影: パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数: 24枚撮りフィルム 約22本

大きさ: 130(幅)×70(高さ)×59.8(奥行)mm

質量: 320 g (カメラ用電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

焦点距離		至近距離	給送モード			モード初期状態	
全域	固定		一枚	連続	サイレント	ストロボ	赤目緩和
●		0.6 m	●			AUTO	●
●		0.6 m		●			
●		0.6 m	●			スローシンクロ	●
●		0.6 m	●			ON	●
	● 85 mm	0.4 m	●			AUTO	
●		0.6 m	●				●
●		0.6 m	●		●		●

アフターサービスについて

1. 保障期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談センター（製品取り扱い方法ご相談窓口）

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

〒060-8522 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）

☎(048) 649-1450

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1（朝日生命千葉登戸ビル1F）

☎(043) 248-6108

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常磐町2-6-8（トーカイビル3F）

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市東区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F）

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸 二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）

☎(075) 255-5953

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館1F）

☎(06) 6373-8181

〒700-0907 岡山市下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエア13F）

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

〒213-0032 川崎市高津区久地487-1

☎(044) 811-1670

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 6941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火 大分ビル）

☎(097) 537-4117

休業のご案内

新 宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新 宿：10:00～18:00 梅 田：9:30～18:00 その他：9:00～17:30